

松尾育成会だより

平成11年度
第2号

松尾青少年健全育成会
広報部

松尾小学校長 塩澤 正人
青少年健全育成会や、自治会は
はじめ地域の皆様に支えられて、八

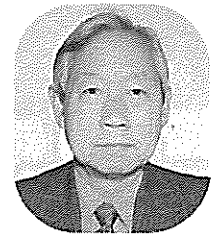
育成会のリーダー
シップに期待！

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根



地域ぐるみで
青少年の育成を
育成会長 遠山 安實

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

「今の子どもは、甘えている。耐性も弱気もない。」と言われることがある。本当にそうだろうか。私は、この子たちの普段の姿に、したたかで見ると、英明でしぶとい生き様を垣間見るにつけ、却って勇気付けられているのです。むしろ私たち大人が、彼らの根

小・中学生の皆さんへのアンケート結果 (抜粋)

問1 最初にあなた自身についてお聞きします。

松尾小4年生	133人	男子	71人	女子	62人
緑ヶ丘中2年生	103人	男子	48人	女子	55人

問3 あなたは将来何をしたいですか? 3つ〇を

		1 プロ選手	2 マンガ家	3 保母	4 発明家	5 タレント	6 科学者	7 運転手	8 看護婦	9 先生
小学生	男子	35	24	0	25	4	18	15	0	5
	女子	5	25	31	3	19	2	4	19	15
中学生	男子	17	4	1	10	6	13	13	0	6
	女子	3	6	23	3	12	2	3	11	0

		10 社長	11 新聞記者	12 芸術家	13 医者	14 パイロット	15 農業経営	16 警察官
小学生	男子	15	8	1	5	12	4	0
	女子	2	6	5	9	0	0	0
中学生	男子	10	5	6	2	4	8	13
	女子	3	11	11	7	1	2	0

(その他:美容師・大工・小説家・花屋・ピアニスト・シェフ・声優・主婦等)

問5 あなたは困った時誰に相談しますか? 1つだけ〇を

		1 お母さん	2 友達	3 お父さん	4 姉妹	5 兄弟	6 おばあさん	7 誰もいない	8 誰にもし	9 その他
小学生	男子	45	8	10	1	2	2	0	0	1
	女子	33	14	5	7	1	0	0	0	2
中学生	男子	2	31	3	0	2	1	5	3	3
	女子	14	26	2	4	1	2	0	0	4

(その他:おじいさん・親友・犬等)

問6 2002年4月より学校が5日制になり毎週土曜日が休みになりますが、休日に何をしたいですか。2つ〇で囲んで下さい。

		小4 (133)	小5 (131)	小6 (126)	中2 (103)	合計 (493)	%
1	友達と遊びたい	70	58	69	47	244	23
2	テレビゲームをしたい	34	26	28	18	106	11
3	買い物に行きたい	21	18	32	27	98	10
4	スポーツをしたい	21	32	21	11	85	9
5	のんびり過ごしたい	16	12	24	26	78	8
6	勉強をしたい	10	18	21	7	56	6
7	本を読みたい	22	16	8	7	53	6
8	テレビを見たい	9	14	12	2	37	4
9	何もしないでんびりしたい	8	6	5	13	32	4
10	クラブ活動をしたい	5	12	7	5	29	3
11	工作をしたい	13	7	3	2	25	3
12	父母と遊びたい	8	5	4	0	17	2
13	家の手伝いをしたい	8	6	1	1	16	2
14	花を育てたい	5	4	3	2	14	2
15	家にいたい	2	4	3	3	12	1
16	ビデオを見たい	1	1	7	0	9	1
17	おもしろい実験をしたい	2	4	1	1	8	1
18	地区の探検をしたい	3	3	0	1	7	1
19	自然に親しみたい	2	1	2	3	8	1
20	合唱や合奏をしたい	0	2	2	2	6	1
21	自然観察をしたい	0	2	0	1	3	
22	釣りをしたい	2	1	1		4	

・地区の歴史 ・人形劇 ・写真 ・劇 ・犬と遊ぶ ・音楽を聞く
・折り紙 ・手芸

問7 中学生の皆さんにのみお聞きします。あなたの住んでいる地区をよくするため、あなたは何を望みますか?

		男子	女子
1	ごみを捨てないで欲しい	11	12
2	あいさつをする	4	7
3	自然を大切にしたい	5	5
4	公園を増やして欲しい	5	3
5	行事を増やして欲しい (もっと交流の場を)	0	8
6	ボランティア活動をする	3	4
7	コンビニを増やして欲しい	6	1
8	清掃をする	4	2
9	道路をよくして欲しい	2	4
10	緑を多くして欲しい	3	2
11	各家庭の交流をもっと活発に	0	5
12	大型店が欲しい	2	2
13	街灯を増やして欲しい	2	1
14	遊ぶ施設を増やして欲しい	1	2
その他	都会みたいに・本屋が欲しい ごみ箱の設置を増やして等		

アンケートについて

昨年度育成会で、幼、保の年中四、中二の保護者の皆様方へのアンケート調査を実施しました。本年度は、松尾小4年生、緑中2年生の皆さんにご協力頂き、実施したアンケートの結果が、上記のとおりです。小学生から中学生にかけて、考え方の変化、又男子、女子

の考えの違い等ご理解頂けると幸いです。この資料をもとに松尾地区懇談会を開催し、最近の青少年の考え等について、意見交換をいたしました。今後の子どもさんへの接し方への参考にして頂けたらと思います。最後にありがとうございました。アンケートを実施するにあたり、関係皆様方のご協力に感謝申し上げます。
教養部長 山崎英行

編集後記

広報部長 小林幸義

第二十回飯田市青少年健全育成推進大会が盛大に開催され、育成活動に永年たずさわって指導育成された方々の表彰がありました。記念講演には伊藤幸弘先生が「今子供達に何が起きているか」を話してくれました。松尾育成会教養部では、昨年「あなたが住んでいる地区を良くするためにあなたは何を望みますか」などいくつかのアンケートを小中学生の皆さんに協力してもらいました。創刊より一年が過ぎ、第二号という事で、限られた紙面ですが重点活動の報告となっております。各活動にご理解いただき、子供達が希望と夢を持って楽しみながら学んでいけるような事業を行っていきたいと思います。今後もご支援ご協力をお願いします。

実りあるリーダー研修会

六年四組 多澤 弘貴

ほくは、リーダー研修会に行っても大切な事をいくつも学びました。友達の大切さ、優しさなどそのほかいろいろな事がたくさん学べました。特にリーダーとしての役割などは、児童会の良い参考として学べました。

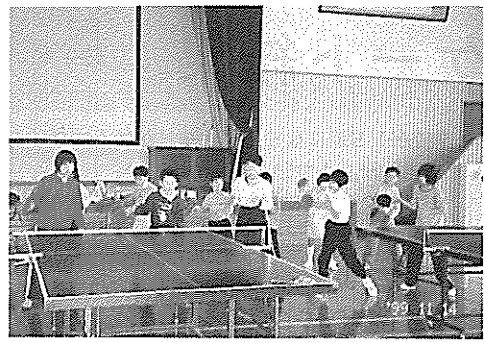
ほく個人の気持ちとしては、同じ飯田市にいなから、他の学校の事はよく分からなかったけれど、新しく知り合えた友達から、自分の学校とはちがう様子も聞けとてもうれしかったです。新しい友達は中学に行って会えるのも楽しみです。実りある体験ができました。

楽しかったリーダー研修会

六年一組 牧内 哲史

リーダー研修会では、いろいろな友達が出て、いろいろなことを学びました。1日目のウォークラリーでは、班の人と力を合わせてがんばることができました。キヤンドルの集いでは、ハンドベルの演奏がとてうまくできました。2日目のマレットゴルフでは、友達との交流がとて深まりました。友達との交流がとて深まりました。友達との交流がとて深まりました。

このリーダー研修会での経験を、これからの生活にかかしていききたいと思えます。



卓球教室

卓球教室は、昭和五十五年四月に発足して三月で、二十年になります。日曜日小学校の体育館で、現在二十三名の児童と、親達も数名参加しボールを打って楽しんでます。指導者不足のために、親も積極的に協力をして頂きながら活動をしています。児童の中には各種大会に参加し、活躍している児童もいます。この人達は一年生の時から続けて頑張っています。上級生、下級生、又親子でも小さなボールを通して、会話をしながら楽しんでる姿を見たいと思います。家に帰っても会話は続くといいと思います。スポーツの楽しさ、卓球が好きになり、健康で大きな声で挨拶ができ、ルールを守り、一本でもラリーが多く続くようになればと思います、指導をしています。



少年野球教室

私達松尾少年野球教室は、一 元気な子供になろう。
二 礼儀正しい子供になろう。
三 野球を通して友達を増やそうを目標に、小学2年生から6年生までの四十五人の子供たちが、毎週日曜日の午前中、小学校のグラウンドで練習をしています。練習は厳しく、監督やコーチの激が飛び、時として涙も見られますが、子供たちは皆頑張っています。
その成果を、5月に開催される喬木大会や松尾大会を始めとする毎月の各種大会で発揮しています。今年6年生が少なく、戦績は今一つでしたが、来年は期待できます。
夏休みには、初の試みとして、小学校の体育館をお借りして、楽しい「合宿」も行いました。



ラグビースクール

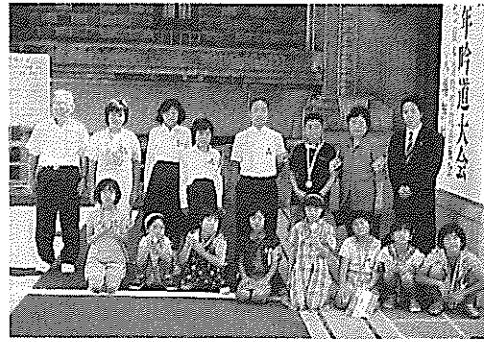
写真は菅平ジャンボリー大会の1年生のチーム

私達ラグビースクールは、松尾の子供達を中心に編成されています。毎月二、三回の土日、祝祭日の午前八時半から十一時頃までの練習を行います。年間の事業は四月九日の開校式後七月末の菅平高原での合宿、九月の県スポーツ少年団交流大会、十月の中央道沿線都市親善スポーツ大会、十一月の長野県ラグビースクール交流大会などがあります。中学生は更に七月末に東日本菅平ジャンボリー大会、一月には秩父の宮ラグビー場で東日本中学生大会、今年一月五日、七日の大会に長野県選抜が参加し当スクールからも五人が選ばれて参加しました。同じく一月に全国中学生大会が花園であります。正月に新年会を行い三月中旬には修了式を行い一年を終えています。多くのみなさんの参加をお待ちしています。



少年少女バレーボール教室

三つの心を大切に
松尾少年少女バレーボール教室
バレーボール教室は、再発足して今年で、七年目を迎えました。コーチ2名、児童数26名で毎週、火、土曜日の六時から八時迄、緑中体育館で活動しています。
パス、サーブ等の基本の練習を主に置き、紅白戦、対外試合等を行い実戦的練習も取り入れていきます。又、親子での試合、クリスマス会、お別れ会等を行い、親善を深めています。
当教室の基本的目標は、「感謝。」「思いやり。」「素直。」の三つの心を大切にすることです。特に「大きな声で挨拶をする」に力を入れています。
保護者の皆様の送り迎え等、御協力と御理解を、これからも、よろしく願います。



はっきりクラブ (詩吟)

松尾はっきりクラブについて
昭和五十七年七月十七日に当時の小学校校長清水三郎先生の御力添えにより大きな声ではっきりと云える子供に育つように、この名がつけられ発足しました。現在まで三百名に及び子供を送り出し、児童会長、役員も多く選出されました。昨年東京九段会館にて全国青少年吟道大会が開かれ四年生以上が参加し、堂々と吟じメダルを戴き、東京代表として参加して来た「はっきりクラブ」の先輩とも会いたい喜びで帰って来ました。毎年長野県大会、飯伊青少年大会にも参加し大きな会場にて堂々と吟ずる姿は、実に頼もしく感じ詩吟を通して立派に成長して、この日本の国を背負って行って下さることを非常に楽しみにして私達は松尾公民館にて毎週土曜午後一時半より指導している次第です。

少年スポーツクラブ紹介

卓球

松尾卓球教室

クラブ活動の様子

松尾少年野球教室

多くのみなさんの参加を

飯田少年ラグビースクール

三つの心を大切に

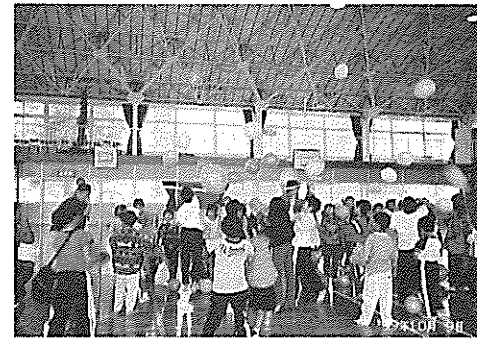
松尾少年少女バレーボール教室

松尾はっきりクラブについて

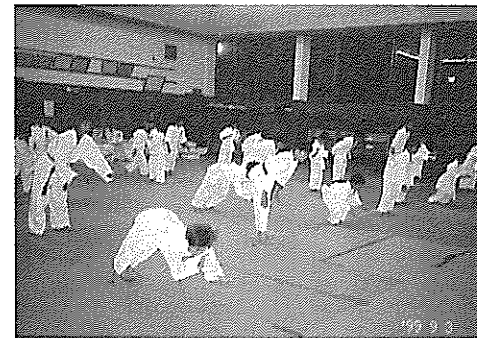
松尾はっきりクラブ

鐘の鳴る丘「有明高原寮」視察
少年補導委員長 中村 茂男
少年補導委員会の主な活動は、毎週一回の地区内巡回が中心で、これは主に夜間に行ない、他には年間計画、地域の行事等に合わせた巡回を行っています。今までの巡回では特に大きな問題は有りませんが、気の付く事は結構有りります。これは巡回日誌に記録し、教育委員会への報告として行います。
昨年十一月に、活動の一環として、穂高町に有る「有明高原寮」の視察をして来ました。ここは、ラジオドラマ「鐘の鳴る丘」のモデルになった所です。ここで、施設の見学、寮長の話しを聞いて、自分なりに色々考えさせられました。子供の問題の前に大人はどうで有るかの方が大きな問題で有ると思います。真の指導が出来る様、これからも活動を進めます。

大人達も、なにか子供時代に戻ったかの様に楽しんでいました。上映したアニメの内容が、低学年以下では少し難しいと感じられた。五年一組 佐々木 ゆか
私は、十月九日に松尾小学校体育館で行われた「レクリエーションと映画を見る会」に参加しました。この会では、ペタンクや風船ゲームをやったり、「太郎ヶ池の夏まつり」や「けんじゅう公園林」の映画を見たりしました。
レクリエーションでは、風船ゲームが特に面白かった。風船船を使っていろいろなゲームをしたりしました。体を動かすのも楽しかったが、他の学年の友達と一緒にできたことも楽しかったです。映画も両方とも、とても感動するお話で、みんな真剣に見ていました。このような会がまたあったら、ぜひ参加してみたいなあと、思います。



レクリエーション



柔道クラブ

柔道場での魅力
松尾柔道クラブ
金曜日の夕方支所の駐車場が急に賑やかになる。今日は柔道の稽古日だ。白い柔道着をまとい、ちびっ子達が集ってくる。昭和三十五年柔道同好会発足後、松尾公民館柔道クラブとして四十一年の長い歴史があり、多くの子供達が巣立ち、今又子供をつれて道場へ顔を見せてくれる。現在保育園児、小中学生三十九名が稽古に励んでいる。厳しい練習の中で相手と触れ合い優しさや他人の気持ちの分かる人になれる様動いている。今兄弟の少ない家庭が多く、学校家庭では味わえない魅力が道場にあり十分間の休み時間には、畳の上を飛び廻る低学年、板壁に上手に逆立ちをする女の子、大縄跳びをする子供達で道場は大にぎわいだ。力一杯嬉々姿は柔道の魅力です。

先輩に感謝の気持ち
松尾公民館剣道部
平成十二年一月二十三日飯田市青少年健全育成推進大会の席上団体表彰を頂く事になりました。これも松尾青少年協、遠山会長さんのご尽力と合わせて昭和四十四年にこの会を発足して下さった先輩方に、感謝致します。
私達剣道部は、全日本剣道連盟の定める剣道の理念でもある「人間形成の道」を基本に考え、剣道を通して青少年の健全育成に少しでも役立てばとの思いで、小学校体育館に於いて毎週火・土曜日の週二日(夜七時〜九時)子供達と稽古に励んでいます。
四月には新入部員の募集を行ないます。一人でも多くの皆さんの入部をお待ちしています。尚随時入部も出来ます。小学生より一般まで男女を問いません。是非一度道場(体育館)に見に来て下さい。



剣道クラブ

松尾少年空手クラブ25周年
松尾少年空手クラブ
「歯を食いしばれ、涙を見せるな」指導員の檄がとぶ。「エイ、ヤー」と負けずに子供達の気合い。今から25年前空手クラブは発足した。初めは10名足らずの白帯の子供達、5年後には全国大会へ出場するようになってきた。今思えばよくあの地獄のような練習に堪えたものである。しかしそのおかげで私は、全国大会、国大出場と貴重な体験ができ私のような者でも、30名の子供といっしょに空手をしながら休日を通る事がとてもあわせて思っています。
私達のクラブは、早朝練習や夏季合宿など厳しい練習が多く、ご父兄の方々のご協力もあって25年の歴史を造ることができました。100周年まであと75年、厳しい練習を伝統にして頑張っていきたいと思います。



空手クラブ